

問い合わせや
各コーナーへの
投稿は右の最寄り
のセンターへ

■本部センター
〒394-0002 岡谷市赤羽2-3-47
TEL 0266-24-0222 FAX 0266-24-0253

■岡谷センター
〒394-0002 岡谷市赤羽2-3-47
TEL 0266-24-0211 FAX 0266-24-0292

■上田センター
〒389-0512 東御市滋野字下原乙4442-11
TEL 0268-71-5036 FAX 0268-71-5667

■長野センター
〒387-0001 千曲市雨宮2374
TEL 026-272-6011 FAX 026-272-7055

■伊那センター
〒399-4511 上伊那郡南箕輪村菅沼8864-1
TEL 0265-98-9822 FAX 0265-76-8200

■松本センター
〒390-0834 松本市高宮中4-20
TEL 0263-87-0276 FAX 0263-87-0206

今月の主な内容

- 1 面…春川 dure 生協 オンライン交流会
- 2・3面…元気発信：
 - 長野ブロック 長野南支部
 - 伊那ブロック 箕輪支部
- 4・5面…特集のページ：
 - 地域循環でつながる持続可能な社会
 - ぐるっと長野地域協議会
- 6 面…組合員のページ
 - 熱エネルギー自給構想実行プロジェクト
 - 里山活動 in 千曲市大池市民の森
- 7 面…委員会だより
- 8 面…つどいのひろば・組合員のページ

今月の 風

第 388 号

2022 年 3 月号

2021
12/14

韓国 春川dure生協 オンライン交流会



生活クラブと、春川 dure 生協の交流の始まりは1983年。韓国の協同組合のメンバーが、生協のしくみを学ぶために生活クラブを訪問したことがきっかけです。2009年からは、気候風土が似ているという生活クラブ長野と春川 dure 生協との交流が始まりました。これまでに2年おきに3回ずつ訪問し合っています。今回はコロナ禍により本来の予定を1年延期しての開催となりました。

今回の交流会のテーマ

「コロナ感染拡大の中での協同組合の価値」

「2018年の交流会以降、活動の成果と課題」

春川 dure 生協からは「コロナ禍による困難を解決する一つ的手段として“日常が必要で、必要が事業だ”という気持ちで生協にふさわしいさまざまなケア事業モデルを作っていきたい」との報告がありました。

生活クラブ長野からはクラブステーション、熱エネルギー自給構想、就労支援事業とそれに伴う組合員活動を中心に報告しました。

画面越しではありましたが、懐かしい方々が元気でコロナに負けずに活動を続けていることを知り、励ましをいただきました。

双方が会場に集まったの
オンライン交流会となりました



生活クラブ長野からは理事会メンバーが参加しました

双方の参加者からは

- 国を超えて友情を深めていくこと、縁を持てることはとてもよいこと。
- 生活者の目線での日常生活の報告がリアルで身近に感じられた。
- 日本も韓国も同じだと共感できることがたくさんあった。などの感想がありました。

春川 dure 生協の皆さんは交流会のたびに私たちから何かを学びたいと真剣な姿をみせてくれます。「私も彼らのようでありたい」と背筋がシャンとする思いです。今回はコロナの終息をまって長野での交流です。実際に会うことが叶うでしょうか。きっと叶う、そう思って楽しみにしたいと思います。

生活クラブ長野 理事長 千村 康代

地域でつながる持続可能な社会 ぐるっと長野 地域協議会

長野県は野菜・酪農などの食料生産がさかんで、私たちの消費材を作ってくれる生産者がとても多いところです。2010年、生活クラブは県内13の提携生産者と生活クラブ（長野・神奈川・連合会）で「ぐるっと長野地域協議会」を発足させました。それぞれの団体が持っている生産、製造、消費の力を集め、地域でつながって持続可能な社会のモデルとなることを目指しています。

～つながる20の会員生産者～

原料や生産資材の調達だけでなくとまらない複合的な提携で、廃棄物の有効利用、エネルギーの自給、福祉活動などなど、幅広い循環構造を作り上げています！

廃棄物の有効利用

鶏糞や製造残渣を堆肥化

フードバンクの運用

社会福祉法人などへ食品を提供



発足当時13だった会員生産者は
現在20に増えました！顔の見える
地域内での連携がますます
広がっています

生産への組合員の参加

計画的労働参加や消費材の開発

エネルギーの自給

ソーラーシェアリングや排水汚泥、
製造残渣によるバイオマス発電など



協議会の発足前から生産者間では地域内循環の取り組みを進めていました。それをより多くの生産者でさらに発展させようと、3年をひとつのサイクルと考えて活動をしています。

■第一期(2010～2012年度)

6本の資源循環ルートが誕生。
業種をこえた連携の前進。



■第二期(2013～2015年度)

生産者同士のコラボ
「山菜おこわセット」デビュー。



■第四期(2019～2021年度)

新たな循環ルートや原料調達の方法などを模索。
新型コロナウイルスの影響により、オンライン交流会を次期中期計画にて検討。

■第三期(2016～2018年度)

フードバンクの運用開始。
ぐるっと長野フェアの開催。
組合員を交えて開発した
「シナノゴールドアイス」、
生産者同士のコラボ
「信州味噌ワンタン麺」誕生。

ぐるっと長野地域協議会会議を開催！

生産者、生活クラブ長野・神奈川・連合会の担当者が長野県に集まって年に4回ほど会議を開いています。今年度は3カ年計画の最終年度です。これまでの振り返りをして、次期3カ年の方針を定めるための話し合いを重ねています。

放置されている耕作地が増えていて、
産地を広げたくても、担う人
が足りないんだよね

会議では様々な
アイデアが

長野県は広い。生産者とその近く
にいる組合員とで
連携できないだろうか

行政や他団体と協同する
ことで解決できないかな



またぐるっと長野フェアを開催
して、組合員とのコミュニケー
ションづくりをしたいよね

ワークショップ
も考えていたら

ぜひやりましょう！
組合員も待ってますよ！

地域の担い手確保は生産者にとって大きな課題です。国内産、県内産を守っていくことの難しさをあらためて感じました。私たち組合員とのつながりにも期待されています。学習会、交流会だけでなく、もう一歩踏み込んで、組合員が生産に参加する関わり方もあるのだと思いました。

持続可能な社会のモデルに これからの展望

発足から10年が経過し、ここまで生産者間の循環が増えたことは、とても大きな成果です。このつながりを今後も継続し、地域内の連帯をより一層強めていきます。ぐるっと長野協議会と私たち組合員の連携もさらに深め、持続可能な社会づくりのモデルとなるよう、活動を広げていきます。*FEC自給圏ネットワークづくりに向けても、食にとどまらず、エネルギーを自給する運動や福祉活動で連携の力を発揮し、課題解決を目指します。

※Foods（食糧）、Energy（エネルギー）、Care（医療・介護・福祉）を自給することが、コミュニティを強化し、地域が自立することにつながるという考え。経済学者の内橋克人が提唱。



第3回 プレ企画

里山活動 in 千曲市大池市民の森

「熱エネルギー自給構想実行プロジェクト」とは、「海外からの輸入に頼っている石油、石炭の化石燃料や原発に頼らない、持続可能な長野らしいエネルギーをつくろう」と発足したプロジェクトです。

長野県の面積の約7割をしめる山には、戦後植林されて成長した「木」がたくさんあります。その「木」の手入れが行き届かず、荒れている山が増えていることから、この「木」を活用した木質ペレットを燃料として使う「ペレットストーブ」を共同購入することを考えました。また、木を利用するだけでなく、森林保全にも取り組んでいこうと、「里山活動」を実施しています。

今回の活動は、植林したカラマツの若い苗木の樹皮を鹿に食べられないようにするための **ネットガード巻き** です



この里山活動では、千曲市の市有林を借りて、市と協力した森づくりを進めています。熱エネ実行プロジェクトメンバーを中心に10名ほどが、千曲市職員やだん森の維持管理をしている財産区の皆さんに教わりながら作業をしました。すべての木にネットを巻くのではなく、将来の森のために残す木を選んで巻きます。初めのうちは鋸を使うもおぼつかなかった参加メンバーも、だんだん慣れてくると「えいっ！」と枝を払えるようになり、100本以上の木にネットを巻くことができました。



私たちが活動を始めるまで、大池市民の森では人手が無く、ネットを巻いたことがなかったそうです。2019年から始めたこの活動は今回で3回目になりますが、「皆さんと一緒にネットを巻くことができるとても嬉しい」「皆さんが以前巻いてくれた木は確実に守られています、価値のある活動ですよ」と言っていたき、本当に長く続けていきたい活動だと実感しました。



- 森の仕事は簡単なものではないと勝手に思っていたけれど、私たちにもできることがあると知りました。森で過ごせば心地よい疲れとともに日常を忘れられる素敵な一日にもなります。ひとりでも多くの人にこんな気持ちを味わってほしいです。
- 大池市民の森は初めて訪れても何かちょっと懐かしい感じがしてとてもいいところです。ネットガード巻きもまだあと4倍ほどの苗木が待っているとのこと。里山整備は奥が深いですが、一歩ずつできることをやりたいです。

活動で使ったネットは皆さんからのカンパで購入しています。カンパとともに名前を書いてもらった木のプレートも、ネットを巻いた苗木に付けてきます。“私のカンパで守れた木”ということですね。コロナが落ち着いたらもっと大勢でたくさんのお木を守ったり、里山のことを学び、楽しむ活動をしたいと考えています。

展示会のペレットストーブのコーナーでは、ネットガード巻きの様子やカンパの募集など、里山活動についてのお知らせをしています。ぜひ、ペレットストーブのコーナーに寄ってみてくださいね。



裏わざ 早わざ
変いわざ

さっそくトライ!
トライ!

パチパチを防ぐ! 静電気除去スプレー

寒い時期など衣類がパチパチして困りますよね。市販の静電気除去スプレーもありますが、成分が心配…という方もいるのでは？
なら、簡単に手作りしちゃいましょう！

【材料】

- 水、または精製水…100cc
- グリセリン …5cc
- 精油 …2～3滴

※精油は香りづけなのでお好みで。無くても大丈夫です。



材料をすべてスプレー容器に入れたら完成！
よく振ってから使います。
少量で作って1週間程度で使い切りましょう。

生活クラブの
ステキな仲間

編集後記

疑問解決 コーナー

Q

&

A

Q

なぜ、注文用紙やeくらぶでは、米、牛乳、鶏卵のよやくらぶ解除ができないのですか。

A

「よやくらぶ」には2つの種類があります。

●ビジョンフードよやくらぶ…米、牛乳、鶏卵
ビジョンフードを予約して食べることで、持続的な生産と消費の実現をめざしています。継続的に食べる約束により、通常価格よりもお得になります。

●安心よやくらぶ…豚肉、鶏肉、調味料など
日常的に利用する機会の多い消費材の注文をサポートします。価格は通常価格です。

注文用紙やeくらぶでよやくらぶの解除ができないのは「ビジョンフードよやくらぶ」です。

「ビジョンフードよやくらぶ」は、予約して食べることで持続的な生産・消費をしていこう、担い手不足や国内自給率の向上など多岐にわたる課題をおおぜいで食べることで解決しよう、というビジョンをもった予約方法です。

そのため、週や月ごとで利用量が大きく変わらないように、簡単な予約解除ができないしくみになっています。解除の際はセンターまで電話をお願いします。